



千字文國字引 全

子 6
4747



特別用
尾形総庫

經典讀法早指南 全三冊

大日本道中行程細見記 全二冊
西の朝鮮の東の蝦夷地をめぐりての行程記
名方新編の巻に所収 馭沙定之法
付名所回廊社佛容多し 馭沙定
けまといれ日本国中をめぐりて
明後するあり
名のお天の年中に極はつたも 國郡
おかりやくく人の中はだ一國免して他を
之彩を信ておわ法ののりあつた
寛政七年刊板と云ふ

日本小学道徳本の要領と採擇し片断を
集めておわすの人のまことと云ふと解さる
車水の下はけりかか

筆道秘旨古早学文 全四冊

余道の秘旨は傳表くわつた一拾法七十
長の筆法奥義と云ふ一法道の筆法
集り筆法訓の傳授正解八系はか規則也新
あつたの國字の引法と云ふ法を云ふと
集載といふと云ふと云ふと云ふと云ふと
る筆ののりておわすの法を印あつた
互に和学の後にあつたと云ふと云ふと云ふと
經典抜錦国字解全二冊
徳政と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
なつたと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと

医療衆方規矩大成全冊

某方加減おと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
医方と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
あつたと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと

早稲田
新刊
國語

千字文國字引文字引様

文字の引様
國字を引て文字と云ふ
然中六等ふより文字
と云ふに便利あり
一等の字は出流
因等の字は
壁等の字は下ツツキの
ある字は引てつり
く引てつり
陪杯回九下ふい
つりめけつり
引てつり
引てつり

千字文國字引丁附合文

白	萬	樓	る	引	謂	移	の
メ三	メ三	メ八	メ八	メ八	メ八	メ八	メ八
髮	盤	陋	露	の	涓	伊	爲
メ三	メ八	メ八	メ八	メ八	メ八	メ八	メ八
莫	煩	は	路	壹	殷	胎	衣
メ四	メ十一	メ十一	メ九	メ三	メ三	メ十三	メ二
薄	飯	磻	驢	逸	委	易	位
メ五	メ十五	メ十	メ十七	メ七	メ十四	メ十五	メ三
伯	叛	霸	ろく	陰	庸	異	維
メ七	メ十七	メ十一	メ十一	メ五	メ十三	メ十五	メ五
八	頗	祿	庸	庸	庸	異	維
メ九	メ十一	メ十	メ十三	メ十三	メ十三	メ十五	メ五
漢	把	以	右	尹	帷	以	意
メ十一	メ十四	メ十四	メ九	メ十	同上	メ十四	メ八
百	發	勅	音	音	焯	意	意
メ十二	同上	メ十	メ十三	メ十三	メ十六	メ八	メ八

初夢源知

筆法の書の上根を
 ふ字とあるの中概
 七百字とあるの下の
 六百字とあるものと
 古語より一字とある
 りより一思ふふ字と
 あるべしとある
 東坡の言を其の意に
 りて骨に似せしめ
 て肉と異とする

硯のやりの墨のよ
 りを硯の墨の力
 を入てる
 墨の指の仕のよ
 く筆のほのぼの
 筆のほのぼの
 の湯のほのぼの
 めりてやりのり

堂	通	知	甚	ㄱ	岫	離	倫	寥
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
當	洞	持	沈	宙	中	理	ㄱ	糧
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
登	桐	馳	ㄱ	張	抽	利	律	涼
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
棠	盜	池	竹	重	腸	ㄱ	力	兩
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
同	等	治	逐	場	畫	鱗	ㄱ	立
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
投	耻	陟	長	ㄱ	臨	良	流	ㄱ
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
動	地	ㄱ	直	帳	李	林	量	ㄱ
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
東	致	珍	救	忠	履	論	龍	呂
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ

逸	魄	房	方	忌	邨	傍	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
烹	烹	房	方	忌	邨	傍	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
杯	排	房	方	忌	邨	傍	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
本	本	房	方	忌	邨	傍	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
辨	本	房	方	忌	邨	傍	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
別	墨	慕	母	沛	背	貌	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
滅	法	母	母	沛	背	貌	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
平	別	墨	慕	母	沛	背	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
都	丙	滅	法	母	沛	背	貌
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
騰	湯	德	社	陛	璧	法	母
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ

新選正字通

紙をくして墨をす
白水と入る墨とを
かくべー又色紙を
金箔をかかふの上
にかくる墨をすん
もろ糸の松と墨に
入るかくべー
石まて本おとを
て後の世まで
あり亀の尿と
へかくべーと
あぶふ本志ふ
うう亀のい
やふふお
石とやわけて中へ



唐の墨
のふを
いふ家の
かくる
もろ糸
に
入る
もろ
糸の
松と
墨に
入る
かく
べー
石ま
て本
おと
を
て後
の世
まで
あり
亀の
尿と
へか
くべ
ーと
あぶ
ふ本
志ふ
うう
亀の
い
やふ
ふお
石と
やわ
けて
中へ

素	令	凌	ろ	體	丹	たん	葉	與
ソ	レ	ラ	ロ	タイ	タン	タン	エフ	ユ
組	禮	遼	達	大	道	淡	颯	豫
ク	レ	レ	宅	退	道	耽	飲	夜
存	靈	烈	れ	對	納	男	く	う
尊	領	歷	ん	内	答	談	浴	要
そ	聆	れ	連	泰	唐	短	欲	容
霜	り	麗	廉	岱	奈	端	た	杏
操	楚	黎	れ	帶	奈	且	多	遙

誠	衡	康	雁	ん	何	遐	ん	慮
テイ	メイ	コウ	ガン	ン	カ	カ	ン	リョ
骸	か	效	巖	寒	稼	可	温	ぬ
かく	扶	孝	鑒	鹹	我	下	わ	る
學	海	甲	簡	敢	軻	雅	る	い
樂	蓋	豪	翰	甘	嘉	夏	往	騾
嶽	改	俠	閑	漢	荷	家	王	累
よ	階	皋	か	感	歌	駕	か	を
餘	解	絳	岡	韓	佳	假	河	於

の理かり亀のいづかの
多くおろくさのの亀
の尿の亀乃糞汁なり
亀とわうらおののよ
かたれかきと亀これば
おのまがほまくとおまの
糞汁をわすりのあう又
ありの自糞汁大かみ
のけりちゆるとよ
もあり空海石にけきし
牛あり石よえきてけ
こまぞ瀧ぬやうにかく
法をれぞんや本まか
牛ありとくべーとて
はの世ふきるとのこ
きれらと入本たると之

廣澤先生おみお
た人の事を記さる者い
まその大意と得べ
昔より今にまで
従容とて玩味して
その筆とゆらゆらの法
何れも起るべきふう
筆と看倣法な一
くふふ他は處して
佛としてこれを見るが
くせまのくめとて
既とてとてとて
べー争とて下すの
則とてとてとて
とてとてとてとて
とてとてとてとて

ね	ね	羽	ろ	ろ	なん	念	即	宗
く	威	鳥	洛	勞	難	ねい	足	増
具	畏	ん	落	老	南	寧	賊	奏
虞	の	雲	む	廊	ら	ねつ	東	想
駒	の	云	務	朗	羅	熱	つ	く
鼓	能	運	う	ら	らん	ね	ね	則
驅	農	う	宇	來	蘭	乃	年	息
懼	囊	鬱	雨	頼	藍	乃	年	慄
く	う	う	う	う	う	う	う	う

矩	観	環	煌	禍	會	夜	用	孟
愚	冠	關	惶	和	晦	野	陽	莽
ん	桓	く	皇	華	徊	也	ま	岡
君	郡	荒	寓	火	槐	く	磨	まい
羣	歡	光	黃	寡	く	約	摩	毎
軍	翫	廣	く	果	獲	く	ん	け
官	純	横	化	回	號	養	滿	けん
勸	丸	曠	過	回	也	羊	ま	玄
く	う	う	う	う	う	う	う	う

新選正字通

目

目

そのわけは
古今書の墨を用ふ
年その黒くん年を
欲ふ過ざるの故にん
けつす皆かほへ
後世の光と愛せん
と欲し其秀ん年と
わしその堅かん
欲し其造作百端
令玉小伴し其末小
てその夕と
の氣盡て字れ光と
でその夕と
御れかきて糸纏
ころ年鮮し唯こ

在	早	坐	阿	弟	牒	調	傳	英
才	糟	左	安	亭	釣	鳥	顛	纓
歳	頼	佐	安	庭	彫	帛	殿	營
彩	莊	沙	愛	的	帝	激	轉	翳
濟	相	藏	愛	的	帝	趙	典	永
最	菜	草	惡	嫡	聽	寵	田	天
塞	罪	造	惡	嫡	聽	寵	田	天
載	罪	造	惡	嫡	聽	寵	田	天

十年のぼり合せ
○世ふてを寸唐後
そのの實れ唐後
やと向りのありし
親書の書か
唐後今世人の唐後
とつる懐素の承
章のの字れ妙ありて
あつて倒きて其法
失れぬ多法とほる
その實の唐後
昔より二王の字と
その其法の面まゆに
或人字法と論する言

匡	薑	謹	暉	魏	儀	索	宰
九	羗	近	璣	起	氣	察	祭
躬	及	欣	幾	規	豈	酢	再
求	恭	巾	吉	其	義	毀	催
拱	業	銀	譏	虧	器	讚	哉
臼	宮	琴	金	機	疑	宜	散
仰	驚	鈞	訓	飢	既	基	餐
汲	給	會	曦	綺	貫	斬	策

新選正字通

世國の書とる守る多る
 親王の毒とるがせりより
 熟くうしとる世よの熟
 てまき守るとる事あり又
 知れりて知れりといふ事
 あらけ言はれりて知れり
 云かばる事書紙まき
 風声筆習の遠めて
 るおれ事多とる板とい
 ることけきを知れりとい
 るべし蓋蓋の碑を
 ことけきとる今にちか
 事のかり極く
 け國の事法とるる至辰
 の礼はとることとてい國
 のはとる人の事とてい



一揮とてかゝりて帝
 又よ教とていといとる
 聖書書を疆の文字とま
 事ありてい時種りけり
 天子の役辞席上とて
 かま事ありてい帝
 敷とていてれをうて
 事の上とていといとる
 一揮とてかゝりて帝
 又よ教とていといとる

職	瑟	笏	振	慎	閏	祀	侈	兒
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ
寔	漆	審	俊	箴	人	紙	時	枝
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	上同
穡	宿	任	晉	鍼	臣	施	士	慈
ウナ	ウナ	ウナ	上同	ウナ	ウナ	上同	ウナ	ウナ
稷	食	薪	遵	針	身	姿	茲	次
上同	ウナ	ウナ	ウナ	上同	ウナ	上同	ウナ	上同
植	夙	刻	秦	仁	信	矢	史	志
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	上同	ウナ	ウナ
辱	若	日	新	心	盡	指	市	自
上同	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	上同
屬	爵	削	尋	神	尺	多	耳	二
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	上同	上同	ウナ	上同	上同
燭	弱	出	親	真	深	辰	侍	肆
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	上同	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ

似	恃	シ	明	面	邑	鞠	據	巨
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ
斯	使	師	銘	面	猷	心	車	行
上同	上同	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ
止	絲	始	盟	繇	遊	魚	魚	虛
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ
思	詩	字	冥	眠	輜	有	鉅	御
上同	上同	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ
辭	紫	邇	乃	鳴	攸	祐	舉	居
上同	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	上同	ウナ	ウナ	ウナ
仕	資	此	人	鳴	鳴	優	玉	居
ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ
而	事	之	民	名	惟	猶	曲	渠
上同	上同	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ
子	支	四	密	命	惟	友	極	去
ウナ	上同	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ	ウナ

加齊の甲斐使へりあり
 下徳の漢人の書とあると
 凡ふ糸糸の意甚き遠く
 ○宋の人本邦の之四人の
 才と親て回る二王の後
 して中土の往する者
 とよりくふまふとくま
 今こはよりて是とせし
 一國の之れ又ありへに
 心さるるもの
 ○隋書又代の間抄すと
 して隸書とて隸の秦
 隸隸隸の別あり隸隸ハ
 今の階とこれ素隸ハ
 程遠くす昂れり
 八王改仲よりて階と

庶	修	接	州	笙	習	裳	嘯	畏
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
助	志	蒸	賞	陞	松	周	淑	續
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
珠	暑	嘗	道	集	終	稱	色	悚
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
首	所	詳	招	聚	從	翔	實	俗
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
初	諸	觴	箱	鐘	上	章	執	叔
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
殊	書	驤	牆	將	受	戎	孰	孰
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
守	黍	笑	充	相	唱	常	秋	熟
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
主	處	照	象	孰	獸	傷	収	俶
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同

何れこれ概れ始ると
 ありて中絶り王改仲
 古法と得て修飾せし又
 遠くは隸にありて素隸
 意画と概して永字の
 八法を依りて隸として
 隸の手法といふ小
 ありて程遠く隸書全
 なる隸へ素に始ると
 隸小なる素隸小なる
 隸の意とあり小隸と

剪	潛	默	廟	賓	縻	非	女	酒
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
宜	賤	り	表	頓	飛	卑	者	手
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
禪	染	蒙	も	ひ	肥	美	如	取
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
膳	善	毛	茂	必	碑	比	如	寫
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
扇	川	也	人	筆	微	匪	ひ	舍
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
賤	仙	是	門	遍	批	疲	被	且
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
瞻	千	世	り	乎	寢	皮	彼	謝
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
璇	踐	ん	木	飄	ん	檜	靡	躐
上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同

新選正字通



前選正字通

又生といふ字よりよくて
 ○墨妙篆の曰八分を
 仍々の秦の王次中なり
 古今法書苑に曰小篆
 散して八分守八分破
 きて隷書出と夫八分の
 字勢勢ハ八方小く
 少ハ八分とす
 ○行書の多妙篆の曰
 仍手と作りの波瀾の類
 順劉孫昇之略二事に
 倣て勢て簡易に從て
 これとと流移とこれと
 行字とす
 ○章州の書説小曰波の
 二文門令史傑が作るべし

四體千字文國字引 左ハ唐音

天 霽	宇 寧	日 圓	辰 層	辰 層	辰 層	辰 層	辰 層
地 醴	地 醴	地 醴	地 醴	地 醴	地 醴	地 醴	地 醴
玄 書	玄 書	玄 書	玄 書	玄 書	玄 書	玄 書	玄 書
黃 薈	黃 薈	黃 薈	黃 薈	黃 薈	黃 薈	黃 薈	黃 薈
冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露
冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露
冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露
冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露	冬 露

垂 隨	生 城	情 西	正 聲	劭 誚	陞 羨	寂 感	世 積
吹 誰	星 世	清 盛	笑 生	招 霄	戚 績	尺 藉	尺 藉
翠 綏	寸 青	精 政	誠 政	少 妾	夕 釋	帝 迹	帝 迹
水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推
水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推
水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推
水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推
水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推	水 推

ふ文字の引やうとの際ちし是へ文字と積の母ハ銀耶乃
 文字皆ハ内ハ有りて用と造るす速るべし

右の石よりすつりて
字にこれより小石と
右の石よりすつりの印を
合を論む

石印離振

小刀よりすつりて小刀を
字に下より上へとすつり
三分にわたりたれば印の
又石とを合して字の上へ
小刀をすつりてはすつり
後より小刀をすつりては
たよりすつりてはすつり
たよりすつりてはすつり
今そてすつりてはすつり
のすつりてはすつり

化	頼	蓋	四	恭	也	女
化	頼	蓋	四	恭	也	女
被	及	此	大	惟	孤	慕
被	及	此	大	惟	孤	慕
草	萬	身	五	採	収	貞
草	萬	身	五	採	収	貞
木	方	極	常	養	傷	勅
木	方	極	常	養	傷	勅

其修なりちのへ
好んでる字と
づつりて不雅の
るは白字は
ありては
るは古法
ちとあけて
こまき
ゆい
て古雅

男	知	得	周	廉	信	器
男	知	得	周	廉	信	器
效	過	能	談	侍	使	欲
效	過	能	談	侍	使	欲
才	必	莫	波	尺	可	難
才	必	莫	波	尺	可	難
良	改	忘	短	長	衣	量
良	改	忘	短	長	衣	量

徑中ノ語を印に用ゝ
る道号れ下にさすか
不教り園坊の印よ
の邊園坊の印よを
くの邊の字のそり
押 是の次小りら
非あり

詩の依りて小平仄
の部こそ韻引

詩ハ五言あり七言あり
四句あり八句あり五言
と七言とて四句を絶句
と八句を律とみ
平字とて七言とて
おとこ梅あり五言あり

五字あり七言あり七字あり
韻字とて七言とて七字と
の中七言の中平字
とあり七言とて七字と
ハ平字とて七言とて
平字及七字のりらと
のハ七言とて七字と
七言とて七字と
字ハ平字とて七言と
七言とて七字と
不又の字ハ七言と
字あり
二四不同二六都
あり四句あり上
二字とて四字と
の字とて七言と

川	如	似	風	臨	忠	孝	當
水	如	似	風	臨	忠	孝	當
流	流	松	蘭	興	深	則	當
不	不	之	斯	温	履	盡	竭
息	息	盛	馨	清	薄	命	力

淵	淵	容	容	容	容	容	容
淵	淵	容	容	容	容	容	容
淵	淵	容	容	容	容	容	容
取	取	取	取	取	取	取	取
映	映	映	映	映	映	映	映

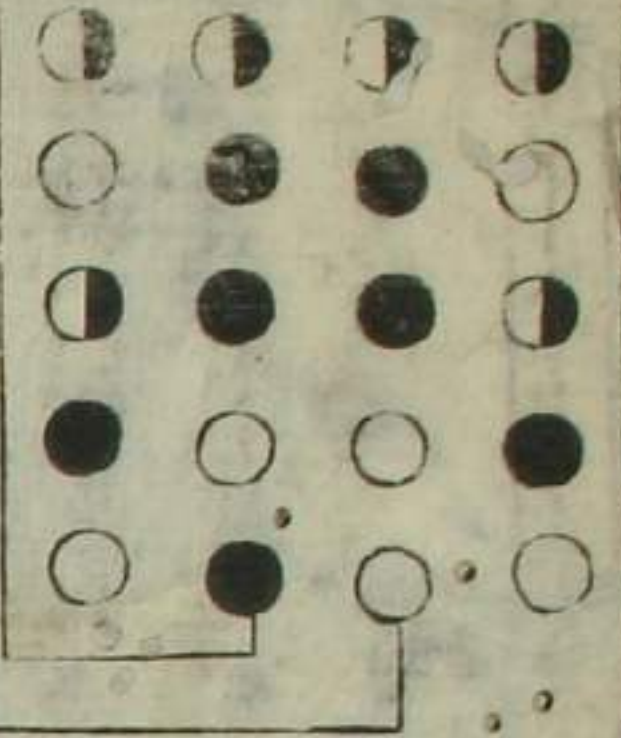
上平下平下下
字上及下下平下
とけく
二六對しふハ四句も
上より身二字と身六字
ト同ト声の字と利あり
平下平下平下平下
下之連とてきくつ
ト下ト上へ平下平下
られ及くと之字はさ
と嫌つて七言後句立
終句の圖とわくし平下
の字をとりし

上	上	禮	樂	去	存	攝	學
上	上	禮	樂	去	存	攝	學
和	和	孫	殊	而	而	職	優
和	和	別	殊	而	而	職	優
下	下	尊	貴	益	甘	從	登
下	下	尊	貴	益	甘	從	登
賤	賤	果	賤	詠	崇	政	仕
賤	賤	果	賤	詠	崇	政	仕



師宜官ハ大者小字を
り小字ハ一寸四方に千
文をきくつ何れ後とり
て字と持て居るは
先きの後ハ大字と手
をアツクあをきくつ
酒ハ大者れは居るは
対て宜官ハ大者れは
のこのあをれを列つて
てきくつ

夫	夫	外	入	諸	猶	孔	同
夫	夫	外	入	諸	猶	孔	同
唱	受	奉	子	懷	氣	氣	氣
唱	受	奉	子	懷	氣	氣	氣
婦	傳	母	伯	比	兄	連	連
婦	傳	母	伯	比	兄	連	連
隨	儀	儀	儀	兒	兒	枝	枝
隨	儀	儀	儀	兒	兒	枝	枝



これ五言終句の字は... 律との右の四句と... 句一八句とする七と... 起二言不同 下三連所...

Table of characters with phonetic notations and variations. Columns include characters like 交, 友, 投, 分, 交, 磨, 投, 分, etc.

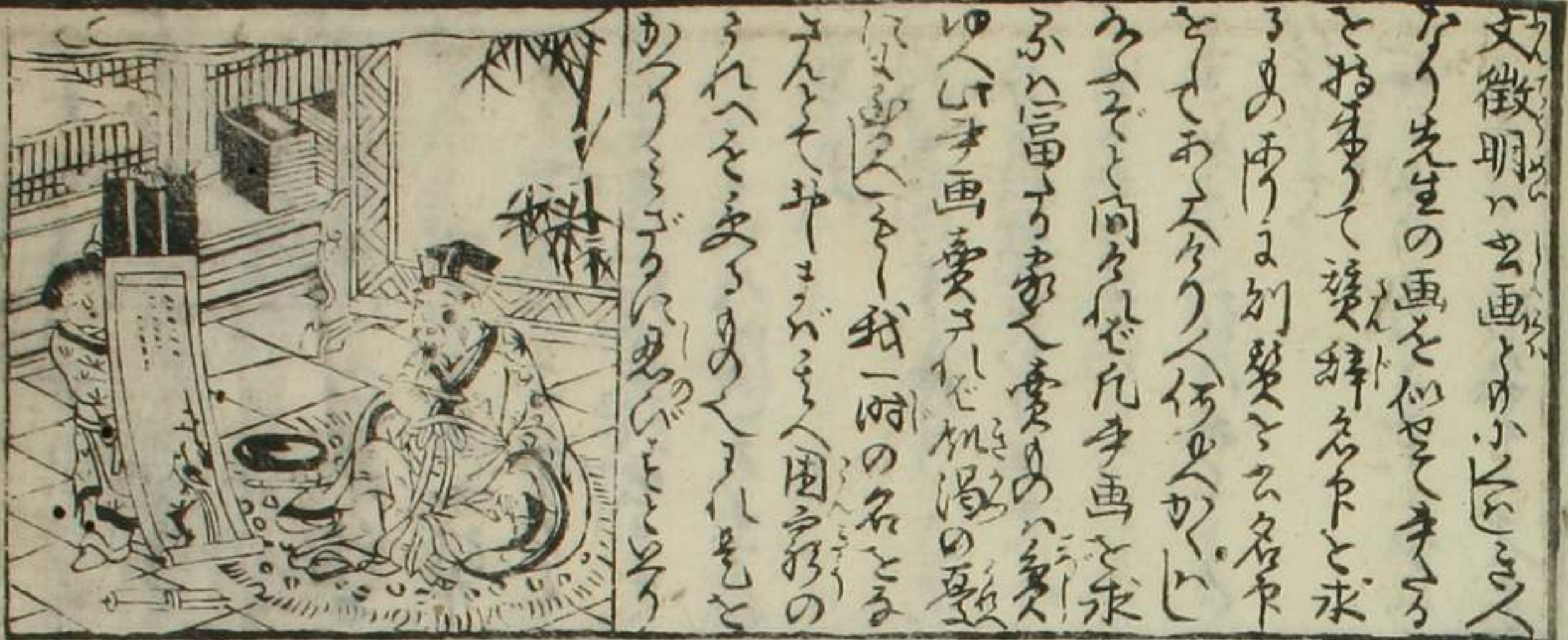
此七言終句の字は... 堅の心をいふ... 此の心をいふ... 詩の心をいふ...

右の五言ハ平とて... 言ハ及とて... 此平起及起あり右の... 及とて平比し平比と... 及とて平比し平比と...

Table of characters with phonetic notations and variations. Columns include characters like 心, 真, 神, 夜, 心, 真, 神, 夜, etc.

なりしにきてハ詩吟
とほ者てうとあはらう
平上玄入の四声分あを
て詩とほる日存乃確
さうたがさう今佳の
あーさうも四声入
りささ
一平一上、ま一ハかくれ
人の詩小和句とるさ
りふたの詩五言るんが五
字七言るんが七字り
まとりらひては音の約
とつるなり
衣の外あく詩とほ
はありこれいあははし也

丙	画	画	画	画	画	画	画	画	画
丙	画	画	画	画	画	画	画	画	画
舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍
舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍	舍
廐	備	備	備	備	備	備	備	備	備
廐	備	備	備	備	備	備	備	備	備
廐	備	備	備	備	備	備	備	備	備
廐	備	備	備	備	備	備	備	備	備



甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆
甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆
甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆
甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆
甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆
甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆
甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆
甲	申	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆	肆

○奇なる事小ながらの事なれ
るに奇の我が世の風俗で
律も多かりか人の心を
やうげ月に入れば鬼神と
ありけりやを男女れ中
をもやうげなる事なり
これをも多かりか世に
かともはれはほあふすむ
うらみ
同者のうらみなる事な
りしれればかりやを全
とせざる事
とせり花はあけと
いふ事
神事のみとてせしめ
まはれりあてども久あ

戸	戸	路	府	漆	杜	亦	既
戸	路	府	漆	杜	亦	既	
封	狭	羅	書	菓	菓	聚	集
封	狭	羅	書	菓	菓	聚	集
川	槐	將	壁	鍾	臺	墳	墳
川	槐	將	壁	鍾	臺	墳	墳
縣	卿	相	經	録	英	典	典
縣	卿	相	經	録	英	典	典

いふのすいふ
とせり又半はれはれ
かたはら
茶を本と佛小あふ
うらみなる事なれ
うらみなる事なれ
くはまらうとせしめ
ららぬの事なる事なり
いふ事なりとせしめ
中の一なる事なり
んとせしめ思ふ事なり
色あふ事なりいふ事
いふ事なりいふ事

家	家	高	高	高	高	高	高
家	家	高	高	高	高	高	高
給	給	給	給	給	給	給	給
給	給	給	給	給	給	給	給
子	子	子	子	子	子	子	子
子	子	子	子	子	子	子	子
兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵

るくばいふとをさつ
べいそく果けつまは
よまらぬのそまそを
よはんれんをさつ
まばつて十方いりし
て山せけ海をさつ
がけやうき風をさつ
ひしんをさつ
ひまたれりおとさつ
うとよんをさつ
分てまの字をさつ
まの字をさつ
く月をさつ
うとよんをさつ
衣とわをさつ
の詞といふあり

綺	倚	濟	桓	滌	奄	佐	瞞
綺	倚	濟	桓	滌	奄	佐	瞞
回	回	弱	公	旦	宅	時	谿
漢	漢	扶	匡	執	曲	阿	伊
惠	順	傾	合	營	厚	衡	尹

惠 順 傾 合 營 厚 衡 尹

王獻之の義之の身七
初葉の父ふつげう
ゆふのそて
出まぬ
ぬらぬ
ゆふのそて
て致して
まのそて
のそて



説	後	多	香	趙	假	踐	踐
説	後	多	香	趙	假	踐	踐
感	火	士	楚	魏	途	土	土
感	火	士	楚	魏	途	土	土
生	密	定	夏	田	滅	會	會
生	密	定	夏	田	滅	會	會
下	勿	寧	霸	橫	號	盟	盟
下	勿	寧	霸	橫	號	盟	盟

下 勿 寧 霸 橫 號 盟

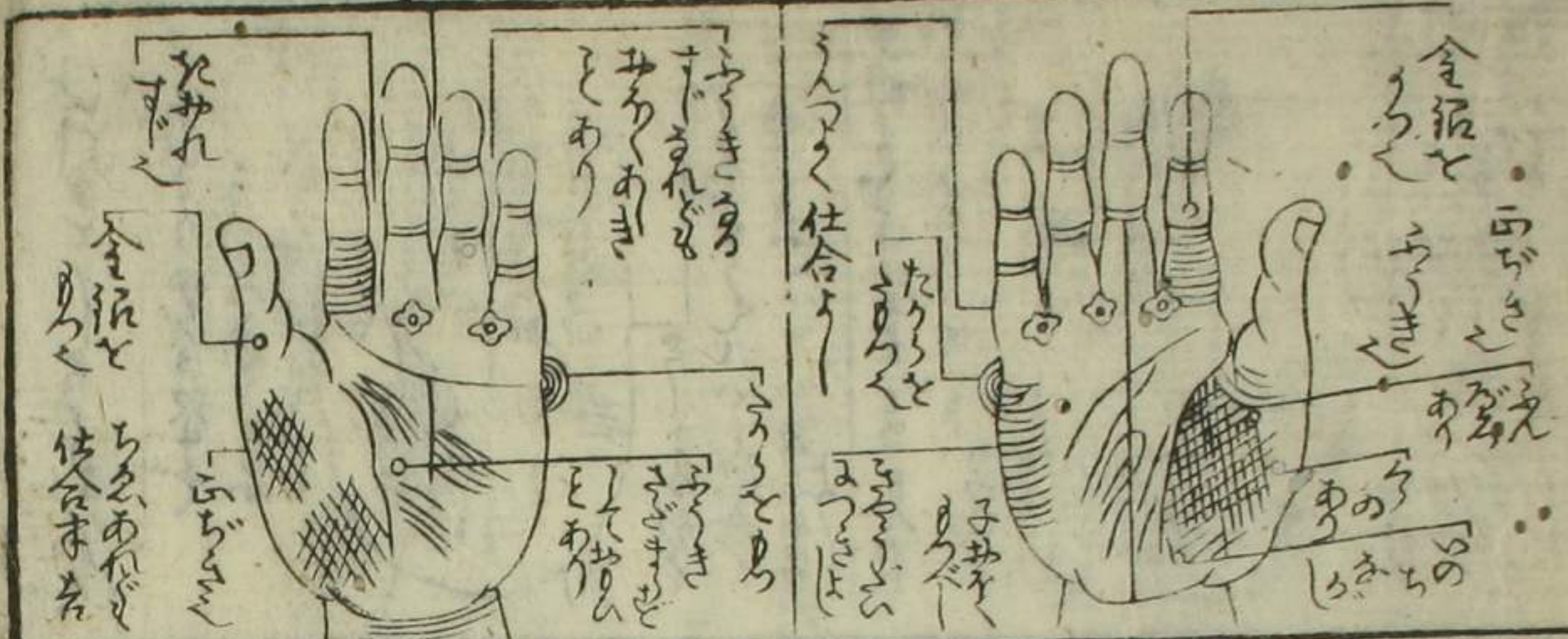
奇字のつゝいともあま
 あり、う、かきてさく
 上と下い 下と下い
 口合と下い
 上と下い 下と下い
 上と下い 下と下い
 上と下い 下と下い
 口合と下い
 上と下い 下と下い
 又上下と下い 下と下い
 あり
 上下と下い 下と下い
 上下と下い 下と下い
 上下と下い 下と下い

渠	渠	園	園	批	批	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸
遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊	遊
荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷
荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷
的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的
的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的

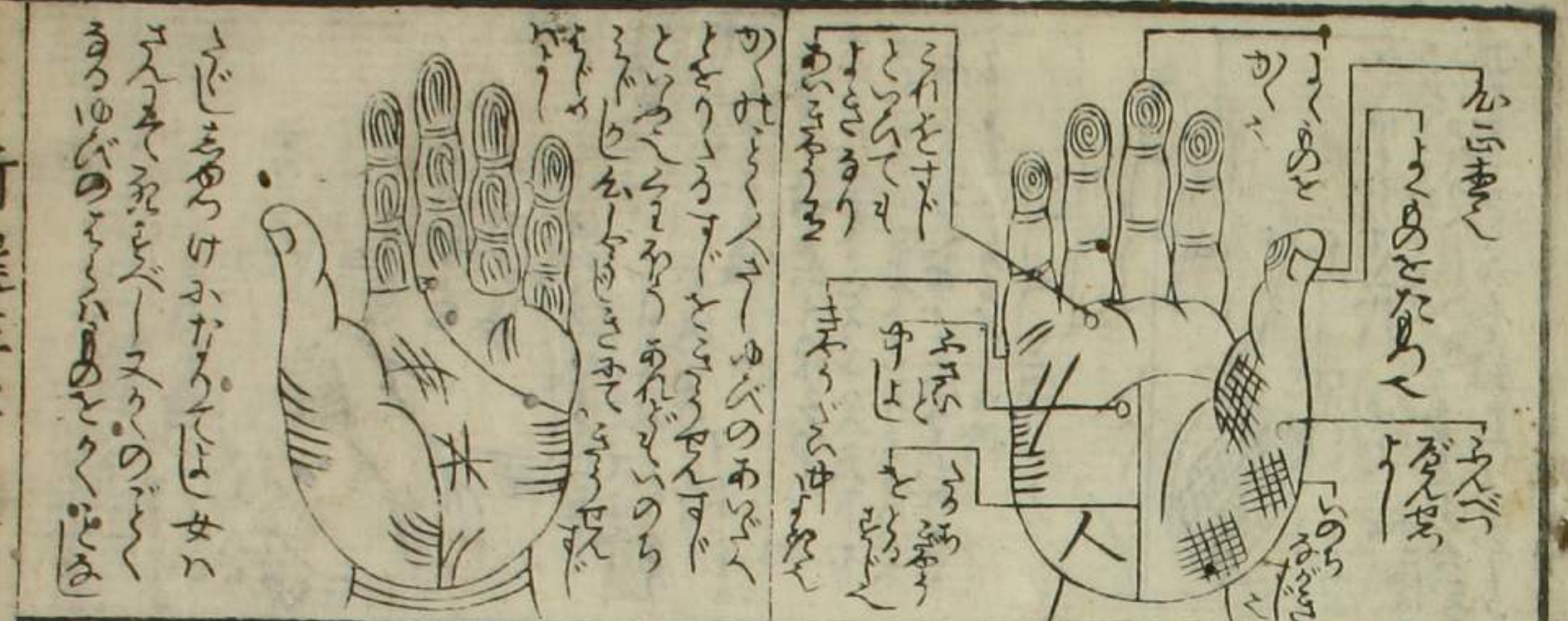


渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠
渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠	渠
荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷
荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷
的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的
的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的	的

辨選五字通



季	季	工	毛	立	釋	鈞	恬
季	爾	工	毛	立	釋	鈞	恬
夫	矢	頻	施	皆	躬	巧	筆
夫	矢	頻	施	皆	躬	巧	筆
每	每	妍	淑	佳	利	任	倫
每	每	妍	淑	佳	利	任	倫
催	催	笑	姿	妙	俗	鈞	紙
催	催	笑	姿	妙	俗	鈞	紙



指	晦	璇	曦	指	永	矩	俯
指	晦	璇	曦	指	永	矩	俯
依	依	步	薪	塊	玦	暉	仰
依	依	步	薪	塊	玦	暉	仰
解	引	吉	修	環	懸	朗	郎
解	引	吉	修	環	懸	朗	郎
廟	廟	劭	祐	照	幹	耀	耀
廟	廟	劭	祐	照	幹	耀	耀

人字のついでに
よう甲のうのよを
よとすまの全指見
た小そ
まかり



いそと人字のついでに
の中まき
つとまき
のつとまき
のつとまき

ちまのついでに
ゆのついでに
まのついでに
まのついでに



全指と人字のついでに
りくくれと人
まのついでに
まのついでに

愚	謂	謂	愚	孤	細	東	東
焉	謂	謂	愚	孤	裴	東	東
哉	語	語	蒙	西	回	帶	帶
乎	助	助	等	寡	瞻	瞻	瞻
也	者	者	者	者	者	者	者

四體文字終

一錦囊万代寶鑑

禁中御門跡方御方乃
坂美詞遠手習乃乃
授并小徳百番侍連能仕極
益強方去札徳方れ式唐書傳授
立花生花茶湯式并術とて
藝師師通入りて了て

一智恵枕

世界に新愛なる事の新妙に
心易く徳の仕極并林理方
あつしき考ひ方考ひ方

一錦囊妙薬秘録

妙方れ薬病を治する神の
おく奇妙の功驗ありぬらぬ
とる以医師母ありぬらぬ
とるを末を那ひに即效あり

一錦囊秘卷

同の味を止り子孫を官位に昇り
不孝れ子孫孝れにを擁護奴極
等法選せんぬらぬ
つよけ其外秘教不伝の術そのは
大坂心并務南丁目

吉文字香市共場

